

とにかく軽くて、ハイパワー!!

持った瞬間感じたのは「軽っ!」、使った瞬間感じたのは「強っ!」。そんなギャップがこのブロワの最大の魅力だと思う。軽いから屋根のような不安定な足場でも取り回ししやすいの。工房の粉じん飛ばしにも役立つし、防じん・防水規格「IPX4」に適合しているのもポイント高い。個人的には3機種の中でこれがMVP。付度なして欲しいです。



充電式ブロワー
BBLZ-20 (L) 2万6000円
最大風量10.7m³/min(ターボ)、バッテリー装着時の質量はなんと1.9kg。電池パック2個と充電器が付属



レバーを強く引けばターボモードに。雨で屋根に固着した落ち葉もラクラク吹き飛ばせた



ウッドデッキに溜まった落ち葉の吹き飛ばしもこのとおり。とにかく本体が軽い!



剪定から解体まで。汎用性の高さが◎

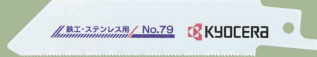
これで枝を切ってる感触は、まさに「手ノコ」。自然な感じで庭木の枝を剪定できるストレスフリーな感じが気に入った。ブレードを交換すれば、なんでもいけちゃうフレキシブルさはマルチツールに近い感じ。つまり、1台持っておくと色々なシーンで役立つちゃうこと間違いない。家庭用のゴミ出しの強い味方にもなるね。



充電式のこぎり
BSKZ-20 (25)
2万6000円

ストローク量25mmでスムーズな切断を実現。ブレードの交換は工具レスで簡単。質量2.1kg

木工・剪定用ブレードNo.90(別売)を装着し、立木から邪魔な枝木を剪定。サクサク切れるので、ゴミ出し用のサイズまで刻むのも簡単



鉄工・ステンレス用ブレードNo.79(別売)で、廃材になった水切り金物をカット。DIYの現場でよく出る金属系の廃材処理にも力を発揮

ワンランク上のスペックでDIYをもっと楽しく!

京セラの電動工具「Z20シリーズ」は、高出力、高効率なブラシレスモーターを搭載した本格派の家庭向け(DIY用)18V充電工具。各種機、スタンダードな機能に絞り込むことで、パワフルな性能と優れたコスパを両立。まさにdopa読者にぴったりのパワーツールだ。



発売元◎京セラインダストリアルツールズ
☎0570-666-787 <https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/>



本記事で紹介した3機種に加え、他7機種、現在10機種をラインナップ

京セラ「Z20シリーズ」で本誌編集長がインプレッション! 高性能&神コスパな実力を検証!

2025年より発売されている京セラのコードレスツール「Z20シリーズ」に、チェンソー、ブロワー、電動のこぎりが新登場。この3機種を本誌編集長が、森の整備で使用してテストを敢行。ポイントは必ず「コンパクト×ハイパワー!」

写真◎福島章公

コンパクトなボディと裏腹に玉切りがサクサク進む高出力!

充電式チェンソー
BCSZ-20 (28) 3万6200円
本体長さ586mm、有効切断長さ276mm、質量3.4kg。チェンスピードは8m/s。大容量4000mAhのバッテリー付属

充電式チェンソーのいいところって、やっぱりその手軽さ。スイッチ押せば丸太切れちゃう、そのシンプルさがいいよね。丸ノコ使うノリで、気軽に玉切りできちゃうところがいい。価格といい、機能といい、初めての1台にぴったりなんじゃないかな。電気ブレーキとチェンプレーキのダブルブレーキで、安全性が高いところうれしい。



ダイヤル操作による簡易な調整機構が備わっているので、工具レスでソーチェーンの張り調整や交換が可能。こういうところまで手軽なのがポイント高い



直径約27cm程度まで切断可能で、手頃なサイズの丸太の玉切りにぴったり。その圧倒的な扱いやすさで、薪作りがはかどった

本 誌10月号の製作中は、毎年梅雨の中を駆け抜ける。一年で一番、森がいきまきして美しい新緑に癒される反面、刈りも刈ってもすぐ元に戻る、草刈り地獄の季節でもある。読者にはおなじみ、編集部が森「フィールドdopa」も例外ではない。そんな折、京セラのZ20シリーズから新たに3機種が発売され、いずれもガーデニングにも役立つツールとのこと。ここぞとばかりに森の整備に使ってみた。

18V充電式パワーツールで統一されたZ20シリーズのコンセプトは「コンパクト×ハイパワー」。今回使用したチェンソー、ブロワー、電動のこぎり、いずれも驚くほど軽いのが第一印象。「おもちゃみたいに軽い……」と思いきやスイッチを入れるのと、今度は想像以上のパワーに驚く。そんなダブルインパクトに思わずテンションが上がる。

取り回しやすくて強力だから、丸太の玉切りも枝木の剪定もサクサク進み、憂鬱だった森の整備が逆に楽しくなってしまう。毎度苦労していた雨に濡れて固着した屋根の落ち葉掃除も、ブロワーのターボモードでひと吹きだ。

それについて、お財布にやさしい価格なのがある。機能がスタンダードなものに絞ることで、圧倒的なコストパフォーマンスを実現。チェンソーなんか、バッテリーと充電器がついてなんと3万円台! 手練れのDIYerはもちろん、これからバッテリー工具を買うようなビギナーには強くおすすめしたい。

軽く持ち運びやすいので、家庭だけではなく、二拠点居住を楽しむユーザーにもぴったり。ここで紹介する3機種は、庭や工房、別荘の手入れをグッと楽にし、QOLを上げてくれること間違いなしだ。